

事前評価調書

整理番号	3	研究課題名	感染症・生活習慣病における臨床分子疫学的研究 「慢性肝疾患における分子疫学的研究」
研究背景・必要性			
<p>近年我が国の肝癌死亡率は増加傾向にある。本邦には前癌病変ともいえるC型慢性肝炎，肝硬変患者が既に200万人以上存在すると推定され，有効な発癌予防がなされなければ，今後20年間肝癌の減少は期待できない。</p>			
研究目的			
<p>C型肝炎ウイルス感染が慢性肝炎から肝硬変を経て肝癌を引き起こすメカニズムは未だ解明されていない。本研究では，ウイルス側および患者側因子の解析により，肝炎から肝癌への進行に影響を与える要因を明らかにすることを目的とする。</p>			
計画内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1． 県内医療機関からC型肝炎ウイルスキャリアの生活背景と薬剤の投与状況等の情報および検体を収集し，病原体（ウイルス）の変異と病型との関係を遺伝子解析によって明らかにする。（平成15年度） 2． 病歴，治療の効果（薬剤の効果，副作用の出現）等の情報および血液の分析データを用いて，患者側の要因の解析を行う。（平成16年度） 3． 上記のデータから，地域における疾患の特異性，疾病の構造，病気進行の要因を明らかにする。（平成17年度） 			
研究目標			
<p>上記の分析によって肝癌への進行に影響を与える要因を明らかにし，</p> <ol style="list-style-type: none"> 1． 地域における肝硬変，肝癌患者発生の予防施策の推進や地域（市町村）の健康施策計画の策定に寄与する。 2． 個人の特性に応じた治療を行う基礎的なデータを医療機関等に提供し，治療成績や患者QOLの向上に寄与する。 			
実施上の課題及び対応			
<ol style="list-style-type: none"> 1． 患者情報および検体の収集のため，県内医療機関の協力が不可欠である。 2． 倫理委員会の承認を経て実施する。 			